

■ Work Sheet

「こまじいのうち」における運営のヒントについてKey Wordをまとめてみました。皆様の気づきにご使用ください

No	Key Word	こまじいの家では	皆さんならどう考えますか？
1	多世代交流	別世代向けのプログラムを2部屋で分けてやっているうちに、だんだんと混ざり合ってきたのが多世代の始まりです。多世代が同じタイミングに同じ空間で過ごす事。その交流が多世代交流となりました。	
2	居場所 どんな居場所を考えていますか？	「だれでもの居場所になる」がコンセプトです！いつでも開いている事が大事だと考えています。そして、必要以上にテーマ型プログラムはつくらず、隙間時間をわざとつくるなど、交流をしやすい状況をつくっています。	
3	広報の仕方 居場所のアピールは？	チラシや、回覧板に掲示板。一部新聞の折り込みを近隣のエリアに入れる事もあります。文京区の社会福祉協議会でも案内をしています。	
4	立ち上げのポイント 広く皆さんに参加してもらうには	協議の場を立ち上げて、色々な人を巻き込みました。それは、みんなで理解するプロセスを組織として作らないと後から人を巻き込むのは難しいと考えたからです。	
5	運営で心がける事 役割分担の考え方は？	「ゆるやかさ」です。誰かが苦しくならないように、役割分担には気を付けています。	
6	地域福祉コーディネーター	地域情報の提供や、人と人を繋げる重要な役割を担っています。 これらのスキルを活かし、様々な調整やアドバイスなど多岐に渡る支援を行っています。	
7			
9			
10			